

平成 26 年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名称	浜田市旭温泉あさひ荘
指定管理者	名 称 : 旭温泉旅館組合
	代 表 者 : 組合長 西田恭志
	住 所 : 浜田市旭町木田 952 番地 1
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営協定書、実績報告書、指定管理者へのヒアリング、実施調査等により別途「指定管理者モニタリングチェックシート」で適否を検証する方法で実施した。</p> <p>具体的な業務の履行状況についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を掲載した。</p>
担当部署 (問合せ先)	部 署 名 : 旭支所 産業建設課 産業振興係
	電話番号 : 0855-45-1437
	E-mail : a-sangyou@city.hamada.shimane.jp

■ モニタリングの総合コメント

当施設は、平成 26 年 8 月 1 日から指定管理（平成 29 年 3 月までの 2 年 8 ヶ月）を開始した。8 月 3 日にリニューアルオープンし、適正な管理のもとで運営されてきたが、9 月にレジオネラ菌が検出されたことにより、約 1 月半の営業を停止した。その後、11 月 1 日に営業再開したものの、平成 27 年 3 月に再度レジオネラ菌が検出され、年度末までは営業を休止した。オープン当初は想定を超える来客があったものの、営業停止後の再開以降は、非常に苦戦し、信頼回復に努めたものの、営業日数も計画の 2/3 程度となったこともあり、当初の入込客見込数を大きく下回る事となった。

レジオネラ菌の発生原因や今後の対策については、浜田保健所の指示を仰ぎながら進めており、指導を受けた後の衛生管理や清掃管理に関しては問題ないとの評価を受けている。

しかしながら、2 度も利用客に迷惑をかけたということへの自覚をしっかりと持って、接客サービスの向上や利用客が少しでもくつろげ、癒されるための工夫や対応が求められる。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

今後は、接客サービスの充実や観光イベントの実施、バックアップなどで、入込客の増加や休憩棟利用者の増加を図ることが必要である。

また、旭温泉の情報発信の拠点として、観光資源や特産品の情報をタイムリーに発信することを検討する必要がある。

さらには、レジオネラ菌等の発生を防ぐために、水質には十分な管理体制をとり、設備のメンテナンス、保健所からの指導どおりの清掃を行っていく必要がある。

加えて、燃料代の節約を目的とした木質チップボイラーが十分に稼動しておらず、当初の計画どおりの利用に向けて調査研究が必要である。

<p>I 基本的な考え方</p> <p>① 目的、公平性、効果等への所見</p> <p>当施設は、地域振興のシンボリック的存在であり、旭温泉全体の活性化を推進するために、地域の中で最も理解のある地元旅館組合が最適と判断し、指定管理者として指名している。</p>
<p>II 業務内容</p> <p>① 事業への具体的取組み方について</p> <p>自主事業では回数券、定期券方式を取り入れ、また、旭温泉全体の集客数の底上げを図るためにSNSによるPR等、積極的に宣伝活動に取り組んでいると認められる。また、地区まちづくり推進協議会と連携し、地区住民を優待するといった取組みも行っており、「地元根付いた旭温泉」として認知されるように努めている。</p> <p>② 施設の運営体制や組織について</p> <p>導入したチップボイラーは、煙の影響で使用を中止しており、当初見込んでいた熱源に係る経費が抑えられていない。宿泊、飲食のない入浴施設のみで運営するため、休憩棟の利用を促進し、使用料の収入を増やす必要がある。また、入浴客に対して、休憩棟の有効活用の提案も必要である。</p> <p>③ 適切な事務や経理について</p> <p>施設管理者により、経理、事務が適切に行われている。</p> <p>④ 安全管理、情報管理、緊急時等の対応について</p> <p>緊急連絡網が整備されており適正と認められる。個人情報についても、適正に管理されている。火災や入浴客の緊急時への対応については、消防署の指導を仰ぎ研修も実施している。</p> <p>⑤ その他業務内容について</p>

施設概要及び実績報告書

1 施設概要

施設名	旭温泉あさひ荘	
所在地	浜田市旭町木田 954 番地 3	
開設年月	昭和 52 年 6 月（平成 26 年 8 月リニューアル）	
設置条例	浜田市旭温泉あさひ荘条例	
設置目的	旭温泉を活用し、憩いの場及び交流の場を提供することにより、市民の心身の健康の増進を図るとともに、交流人口の拡大による地域経済の活性化に寄与するため。	
施設の概要	敷地面積	2,930.94 m ²
	延床面積	390.29 m ²
	施設内容	公衆浴場
	事業内容	公衆浴場の提供 休憩の場の提供 市の観光資源、特産品等に関する情報の提供

2 運営実績

項目	H25 実績	H26 計画	H26 実績
開館日数		206 日	137 日
開館時間		9 : 00 ~ 20 : 00	9 : 00 ~ 20 : 00

3 利用実績

項目	H25 実績	H26 計画	H26 実績
延べ利用者数		20,000 人	11,058 人
利用料金収入		5,133,000 円	4,387,822 円

4 収支実績（円）

項目	H25 実績	H26 計画	H26 実績
収入			
利用料金収入		5,133,000	4,387,822
指定管理料		2,400,000	2,400,000
入浴割引		▲600,000	▲546,804
使用料		0	41,550
物販収入		233,000	276,250
雑収入		166,000	346,995
収入計		7,332,000	6,905,813
支出			
人件費		2,397,000	2,487,536
給与		2,300,000	2,434,196
社会保険料		97,000	43,940
福利厚生費		0	9,400
管理費		4,935,000	4,186,295
接待交際費		0	3,901
消耗品費		187,000	407,964
燃料費		1,684,000	1,098,314
印刷製本費		0	0
光熱水費		1,204,000	1,337,776
修繕料		0	75,740
通信運搬費		34,000	26,726
広告料		143,000	79,920
手数料		0	35,014
保険料		0	44,300
委託料		670,000	237,600
賃借料		47,000	292,672
物販仕入		564,000	474,368
租税公課		402,000	72,000
修繕料引当金		0	251,004
支出計		7,332,000	6,924,835
収支差引		0	▲19,022